



当たり前のおしさを

11月18日(火)6校時に、国際理解教育の一環として横浜国際人権センターの杉藤さんをお迎えし「人権移動教室」を行いました。

「人権とは何か」という問いかけから始まった講演に、生徒も興味深く聞き入りました。「ともすると難しく考えがちな人権は、“自分と周りの人の命と幸せを守る権利”と考えれば自分が何をすべきか見えて来ますよ」という話に、生徒たちは「人権」をより身近に感じる事ができたようです。

国境なき医師団(MSF)の活動の様子を紹介したDVDでは、目を覆いたくなるようなアフリカの現実を知りました。そしてそれが同じ地球で起こっている現実であることに衝撃を受けて、深く考えさせられると共に、今自分たちが平和に生活できている幸せを再認識させられました。「苦しんでいる人に国境も政治もない」というお話とも合わせ、生徒も教員も医師団の活動への理解を深めました。

最後に自身のニューヨークでの体験などを交え「当たり前のおしさ」の大切さ、そして「人に優しくする1歩を踏み出す勇気」を持つ大切さを話して頂きました。「1日1回、難しければ1ヶ月に1回でも静かに自分を振り返る時間を持ってください」という言葉を頂きました。

今回の講演を機に、普段自分の周りにいる人に「当たり前のおしさ」を發揮できる人になって欲しいと思います。

